

肺切除術後の肩痛についての検討

1. 研究の目的

肺切除術後の肩痛の頻度は31-85%と報告されており、治療にしばしば難渋します。肩痛の原因として、手術操作による心膜、縦隔、胸膜、横隔膜への刺激が、横隔神経を介して脊髄神経に伝達されることでの関連痛の機序が考えられていますが、術中の体位、胸壁の筋損傷、広背筋損傷、肋骨の伸展などの創痛も肩痛のリスクとなりえます。

今回、肩痛と、患者背景、術式、麻酔法、手術体位、手術時間、麻酔時間の関連について後ろ向きに調査を行うことにより、今後の術後肩痛の治療法の検討に活用する資料とすることを目的とします。

ホームページ上に、本研究実施について公開することで、苦情、対象を希望されないなどの問い合わせができるようにいたします。

2. 対象

福岡大学病院において2012年4月1日から2016年8月31日に肺切除術を受けられた患者さんのうち、約400名を対象にします。

対象となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

3. 研究期間

研究を行う期間承認日より2018年3月31日まで

4. 研究の内容

全身麻酔下に肺切除術を受けられた患者さんの麻酔記録、カルテを見直し、肩痛に関連する項目を調査します（肩痛の有無、肩痛の程度、肩痛の治療法、患者背景、術式、麻酔方法、手術体位、手術時間、麻酔時間など）。得られたデータから、術後肩痛のリスク因子を解析することで、予防や早期の治療介入の資料にします。

この研究は後ろ向き研究であり、対象患者さんに生じる負担ならびに予測されるリスクはありません。

5. 個人情報等の保護

研究責任者と研究者は個人情報保護法を遵守し、患者さんの個人情報の保護に努めます。研究対象者のデータは匿名化、暗号化することで、個人が特定されることを防止します。安全管理のため、インターネットに接続していないパソコンに個人情報を保存します。

研究終了後、学会発表および学術誌への論文投稿を行う際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

6. 研究機関

実施機関：福岡大学病院

連絡先：〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈 7-45-1

電話：092-801-1011（代表）

FAX：092-862-8200

担当者：平井孝直

研究責任者：福岡大学医学部麻酔科学

教授 山浦 健

研究者：福岡大学病院手術部

助教 平井孝直